



情報銀行の仕組みを活用した「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト

Impress DX Awards 2019 プロジェクト部門(自治体)グランプリを受賞！

デジタルテクノロジーを使った新ビジネスや社会サービスの実現に向けた取組等の表彰

美園タウンマネジメント協会（埼玉県さいたま市、会長：西宏章慶應義塾大学教授）では、複数種の個人データを組み合わせ、セキュアに利活用する情報銀行の仕組みの社会実装を目指し、さいたま市美園地区においてパーソナルデータ利活用実証事業（「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト）に取り組んでおります。

この度、株式会社インプレスの主催する「Impress DX Awards 2019」のプロジェクト部門（自治体）にて、本プロジェクトがグランプリを受賞いたしました。

「Impress DX Awards」とは、AI・IoT等のデジタルテクノロジーを使った新たなビジネスや社会サービスなど、デジタルトランスフォーメーション（DX）の先駆的な取組等を表彰するものとして株式会社インプレスが2017年度より実施しており、2019年度で第3回目の実施となります。

多様化するライフスタイル・ニーズに応じて、住民一人ひとりに最適化した地域ICTサービスの充実に図っていくには、個人情報保護・プライバシー保護等にも配慮しながら、属性データやサービス利用その他行動履歴データ等のパーソナルデータを、安心安全かつ統合的に収集・管理・活用できる情報基盤の仕組みが重要となります。

美園タウンマネジメント協会¹では、地域データ基盤システム「共通プラットフォームさいたま版²」を介したデータ利活用サービスのユースケースを重ねながら、分野を横断したデータ組合せによる新たな情報価値創造に基づいた持続可能なデータ利活用事業スキームの構築を目指しております。2019年度においては、総務省「情報信託機能活用促進事業」に係る委託を受け、情報銀行の仕組みを活用したパーソナルデータ利活用実証事業「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクトを展開いたしました。

この取組について、今年度の「Impress DX Awards」のプロジェクト部門（自治体）に応募したところ、グランプリを受賞することとなりました。

本受賞は、まさしく“公民+学”の様々な主体の連携によってこそ成されたものと考えております。引き続き、本地区のまちづくりに係る皆様と共に、先駆的な事業・プロジェクトを一層加速・展開し、未来をリードするまちづくりに取り組んでまいります。ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

受賞の概要

■賞名 Impress DX Awards 2019 プロジェクト部門(自治体) グランプリ

■受賞日 2020年3月30日

■受賞団体 美園タウンマネジメント協会

■受賞対象 「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト

■受賞に際しての評価コメント

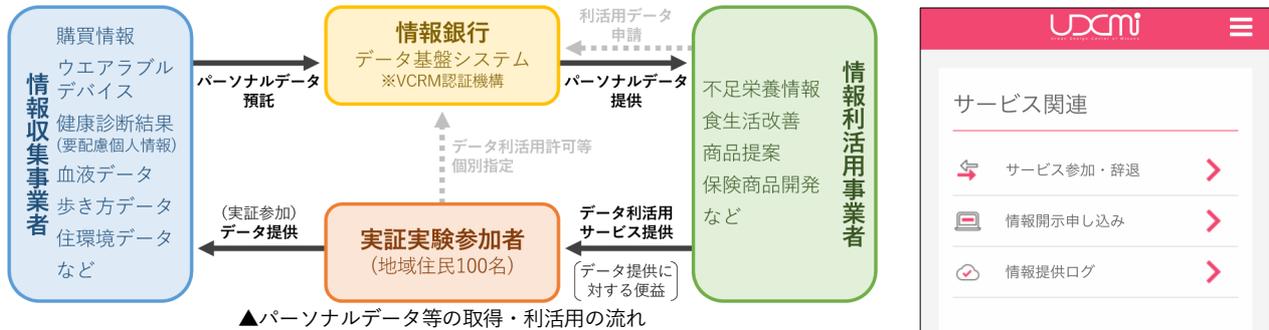
- ・データに基づく住民サービスが求められる半面、個人情報/プライバシーの問題が浮上している。そこに『情報銀行』の考え方を取り入れ、具体的な成果につなげようとしている。個人データを扱う都市サービスの実現は難易度が高いが、そこに正面から取り組んでいる点も評価する。

■その他（参考Webサイト）

- ・(株)インプレス ニュースリリース <https://www.impress.co.jp/newsrelease/2020/03/20200330-01.html>
- ・Impress DX Awards 特設Webサイト <https://dx-awards.impress.co.jp>

【参考】2019年度「ミソノ・データ・ミライ」プロジェクト 実施概要

- 概要 地域住民から参加者100名を募り、2019年10月から2020年1月にかけて、ヘルスデータ・購買データ・住環境データ等、分野を横断したパーソナルデータ等について各参加者より提供を受け、情報銀行の仕組みを用いて分析・活用することで住民一人ひとりに最適化した地域ICTサービスやインセンティブ還元の実現を目指した実証実験を展開した。



▲ヘルスデータ等の取得を行なった健康測定会の様子



▲購買データ取得を行なった電子マネーカード「さいたま市みんなで健康 WAON」



▲VCRM 認証機構に係る UI イメージ

■実施体制

- ▶主催： 美園タウンマネジメント協会
- ▶参画事業者等： 慶應義塾大学、工学院大学、東京電機大学、イオンリテール(株)、ウエルシア薬局(株)、(株)タニタヘルスリンク、SOMPO ひまわり生命保険(株)、シルタス(株)、(株)ジャパンヘルスケア、ソフトバンク(株)、(一社)おもてなし ICT 協議会、さいたま市、(一社)美園タウンマネジメント、(株)シード・プランニング
- ▶協力事業者等： イオン(株)、イオンクレジットサービス(株)、日本アイ・ビー・エム(株)
- ▶アドバイザー： 筑波大学大学院

- i さいたま市美園地区の加速度的な成長・発展を推し進めるため、2015年8月に設立（会長：西宏章慶應義塾大学教授／事務局：(一社)美園タウンマネジメント）。本地区のまちづくり情報発信・活動連携拠点施設「アーバンデザインセンターみそ」(略称：UDCMi)を拠点に、“公民+学”の各主体が業界の枠を超えて連携し（40団体加盟：2020年3月末時点）、最先端のICT・IoT技術や大学・民間企業の知見を生かした先進的な総合生活支援サービス等の創出を図り、「スマートシティさいたまモデル」の構築・発信を目指している。
- ii 特定のメーカーやデバイスを問わずにデータの収集・管理・活用する上で、パーソナルデータの提供先を利用者が選択できる機能として「VCRM 認証機構（Vender and Consumer Relationship Management）」を有する。

《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：末次・黒沢）
Phone: 048-812-0301 E-mail: info@misono-tm.org